

この度、JHS の Scholarship を得て、2023 年 9 月 21 日～23 日にマレーシアのペナン島で開催された第 18 回 Asia Pacific Hernia Society (APHS) に参加させて頂きました。初めての国際学会で少し緊張もしましたが、マレーシアとヘルニア学会の熱気に包まれながら、心から参加して良かったと思える学会でした。

まず、この学会に参加させて頂こうと考えた契機は、今村清隆先生が主催されている「オンライン縫合結紮会」で APHS にて Suturing workshop を開催するから一緒に手伝ってくれる方いませんか？という発信がきっかけです。メッセージを見た瞬間にビビッ!!と電撃が走りました。こんな素晴らしい機会滅多にない、逃してはならないと直感で思い、すぐに連絡をさせて頂きました。実際の workshop では海外の方々に腹腔鏡の縫合結紮 skill を指導するというものでしたが、拙い英語で必死になりながら、身振り手振り、時には少し自分が交代してこういう風にやったほうが良いと見せながら行い、あっという間の時間でした。もっと自分に英会話と縫合結紮の技術があれば、もっと参加者の方に楽しんで満足してもらえるのにと悔しい気持ちも少しありましたが、素晴らしい経験をさせて頂きました。今村先生率いるチーム、スタッフの皆様は全員温かい方ばかりで、初対面の僕にも優しく接して頂き心から感謝しています。また同じ世代の仲間が出来て皆でたくさん話すことが出来たのも大きな財産です(めちゃくちゃ楽しかったです!!また会いましょう!!)。

APHS の Gala dinner(日本でいう懇親会でしょうか)はとても楽しい雰囲気で各国の多くの先生方が「Hello!!」と気さくに話しかけてくださいました。僕の拙い英語もゆっくり聞いていただいて、最初はドキドキしながら参加しましたが、最後まで温かい雰囲気でも enjoy させて頂きました。同時に、自分の英語力の未熟さを痛感し、もっともっと色々な方々と会話し、自分のメッセージを伝えるには英語力を鍛えなければならないと心から思いました。多くの刺激を受け、自分の中の人生観が大きく変わるような学会参加となりました。

最後に APHS Scholarship に選出いただき、貴重な経験を積ませていただいた日本ヘルニア学会、関係各位に深く感謝を申し上げます。今後も微力ながら国内外の学会発表等を通じて尽力して参りたいと思います。

